

立川市地域しまわせ。 支えあいプラン



立川市

3つの重点取組とそのつながり

理念に示す、「すべての人が自分らしくいきいきと、生きがいをもって暮らせる地域」をめざして、立川市では、以下の3つのことを重点的に取り組みます。

3つの重点取組は、互いに補完し合い、ちょっとした相談から複合化・複雑化した困りごとの相談への対応や、さまざまな人が活躍できる、孤立のない地域づくりを一体的に進めていきます。

大小さまざまな多機能拠点 (仮称)地域福祉アンテナショップ※1の設置

身近な場所でふらっと立ち寄れる、相談や交流、活動の場を広げます



例えば

- ✓ 情報がほしい
- ✓ 近所の人と一緒に活動したい

例えば

- ✓ コミュニティカフェを開きたい
- ✓ 情報を発信したい

地域福祉コーディネーター※2による地域づくり

人と人、人と地域をつなぎ、地域での交流の場を増やし、孤立のないまちをめざします



例えば

- ✓ 同じような困りごとを抱えている仲間をみつきたい
- ✓ 地域で得意なことを生かしたい
- ✓ 家の空き部屋を地域で活用してほしい

身近な圏域で「まるごと」相談を受け止める体制づくり

相談支援包括化推進員※3を配置し、さまざまな専門機関と連携して、生活の多様な困りごとをまるごと受け止めます



例えば

- ✓ 高齢になり、手伝いを頼みたいが、障害のある子どもには頼れない…子どもの将来も心配



例えば

- ✓ 育児と親の介護で大変そうな人がいる
- ✓ 相談先がわからず、生活に困っている人がいる




※1 (仮称) 地域福祉アンテナショップ
裏表紙参照

※2 地域福祉コーディネーター
小地域単位での「孤立のないまち」をめざし、住民からの相談対応、住民同士や関係機関等との連絡調整や情報収集を行いながら、住民福祉活動の推進を図っています。現在、立川市内6箇所の福祉圏域に1名ずつ配置されています。

※3 相談支援包括化推進員
複合化・複雑化した課題に寄り添い的確に対応するため、各制度ごとの相談支援機関の総合的なコーディネート等を行います。


「(仮称)地域福祉アンテナショップ」とは

地域での空き部屋や企業の空きスペース等を活用した、サロン・コミュニティカフェの実施などの活動や相談、情報のプラットフォームとして、さまざまなテーマで近隣住人の交流を広くつなぐ、活動の場を表します。



僕は
「参加したい」

- ✓ 地域の人と交流したい
- ✓ サロンに参加して友人を増やしたい



私は
「相談したい」

- ✓ 誰かに話を聞いてもらいたい
- ✓ どこに相談したら良いか周りの人に聞いてみたい

場所はどこでも!
空いている時間もそれぞれ!




住民主体のいろいろな
地域福祉アンテナショップが
あってよい!



私たちは
「活動したい」

- ✓ 体操教室やサロンをつくりたい
- ✓ 一緒に活動してくれる人を探したい
- ✓ ボランティアをしたい
- ✓ 仕事がしたい



私は
**「情報がほしい
情報を伝えたい」**

- ✓ 地域の情報を知りたい
- ✓ 地域の人にお知らせしたい

市民のみなさま次第!!



編集・発行 | 立川市 福祉保健部 福祉総務課
〒190-8666 東京都立川市泉町1156番地の9
電話 042(523)2111(内線1492)
042(528)4799(直通)
FAX 042(529)8676